

黄水仙 いつも笑顔の 家を訪う 忠文	神戸市会議員 うらがみ忠文新聞	2014年 春の号
--------------------------	--------------------	--------------

笑顔は、人生の宝物です。

- 卒業式やら入学式やら引越しやら、思い出のいっぱい詰まっている春がやってきました。なかなか苦しいことも多い人生ではありますが、誰でもが「あの時は楽しかったなあ」と思い出すことが、いくつかはあることでしょう。
- その思い出のシーンには、必ず笑顔がいっしょに残っていませんか。祖父母、両親、兄弟、先生、友人、上司、お得意先、近所の方などの笑顔が...
- 私は、この春の神戸市会本会議場で、再度質問に立ちました。私のテーマは、市民の声をどんどん聴いて市政をすすめて欲しい、ということと、働きたい意欲をお持ちの高齢者の方の就労支援に全力を、というものでした。質問の前に笑顔の練習をしてから壇上に立ちました。笑顔での質問には、いい答弁が返ってくるものです。
- 市長への質問の最後は、「久元市長、あなたの笑顔は素敵ですね。ずっと笑顔でいて下さい。笑顔は伝染しますから」というものでした。笑顔になると、楽しいことがやってくるのです。幸せがやってくるのです。笑顔にあふれた、神戸を日本を、世界を作っていくではありませんか。

「この世に生まれたからには、人の役に立つことをしたい！」と思う人々で満ち溢れている行政や社会を創るのが、政治の仕事です。

ただふみ うらがみ忠文

【うらがみ忠文の行動目標】

- 1、「市民と行政」が、がっぷり4つに組んで、地域の活力を生み出す。
 - ・市職員は、もっとまちに出て話す。
- 2、「神戸の元気」を取り戻す。
 - ・行政は、民間と共に、とにかく「仕事を生み出すこと」に、全力を尽くす。
 - ・「感謝する心を育む教育」
感謝心、お陰様という恩返しの方からの「やる気」の方が、欲望に基づく目標よりはるかに強い「やる気」を起こします。
- 3、「福祉の神戸」を取り戻す。
 - ・昔と違って、困った時に相談する人が身近に見つからない時代になってきました。
 - ・赤ん坊からお年寄りまで、福祉は行政の最大の仕事です。生活の「悩み、苦しみ」に、力強くしっかり応える市役所に！

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- ・元、大丸神戸店「くじやく通信」編集長
- ・元、神戸市立御影北小学校 PTA 会長
- ・NPO 法人 障がい者就労支援作業所理事
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2011年 神戸市会議員5選
- ・無所属。所属会派「住民投票☆市民力」団長

やさしく
 あたたかい
 神戸のまち。
 思いっ切り
 努力します！



JR 住吉駅山側・シーア玄関前。みなと銀行住吉支店東隣り。お気軽に！

●「うらがみ忠文ネットワーク」談話室
 〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-3 矢野ビル3F
 TEL/FAX 078-841-1042 ・Eメール tadafumi@uragami.jp

議会の外でも、私は 毎日「発信」しております。

- 携帯電話「ブログ」で！

<http://uragami.mobi/>



- パソコン「ブログ」で！

うらがみ忠文ブログ

検索

- フェイスブックも始めました。
フレンド申請、お待ちしております！

- ★ ホームページは、毎月1日に更新！

うらがみ忠文

検索

- ・文ちゃんの「ひとりごと」
- ・月刊「大演説」
- ・今月のトピックス
- ・神戸の四季の俳句



自画像です！

3月12日(水)のブログ

わが住吉駅前談話室のホワイトボードには、一枚のポスターが貼ってあります。

泥まみれの重機の前に、スコップを持った6名の若者が立っています。
メインコピーは、「仲間は力だと、わかった。」
そして、「一緒に悲しむことよりも、あなたの仕事を一生懸命やってほしい。
それが沿岸を、岩手を元気にする力になると思うから」と書いてあります。

あの東日本大震災直後から、釜石市に支援に入っている「まちづくりプロ
デューサー」の友人から頂きました。
あの日から、一日として、三陸や福島の方たちのことを思わない日はあり
ません。

昨日は、3年目でした。

わが談話室では、「3人の幼い子どもを亡くして、なかなか立ち上がれな
かったご夫婦」の話題から、不条理な死とは何か？というテーマに進み、
論議は深夜に及びました。

とにかく生き残っている我々は、力いっぱい人のために生きていこう！と、
全員の熱い握手でお開きになりました。

感謝、感謝。

お陰様で、ブログは9年目に入りました。